

平成28年度当初予算案1503億円超 一般会計は805億で過去最高

2月定例会議
2月22日～3月18日

今週の活動から



中心市街地の公共施設の集約によってアミューあつぎに行くことが多くなりました。2月14日

(日)は厚木母親大会。TPPと日本の食についての分科会に参加。(釘丸久子議員)



2月11日から15日はアミューあつぎ5階で「さがみ自然フォーラム」が開催されました。神奈川県内の自然保護団体の展示や説明がありました。キツネやイノシシ、ウサギ、シカのはく製も。5階から8階の市民交流プラザやもみじの手はいつも賑わっていますが、アミューオープンから2年近くで、商業スペースは2店舗が交代しています。(栗山香代子議員)

平成28年度予算案

		平成28年度	平成27年度	比較増減
一般会計		805億8000万円	777億8000万円	28億0000万円
特別会計	公共用地取得	6億1932万円	3億7525万円	2億4406万円
	後期高齢者医療	24億3100万円	20億6200万円	3億6900万円
	国民健康保険	287億9800万円	294億4400万円	▲6億4600万円
	介護保険	126億8400万円	119億9900万円	6億8500万円
	公共下水道	60億4900万円	61億3900万円	▲9000万円
	病院事業	191億6072万円	128億3390万円	63億2682万円
合 計		1503億2204万円	1406億3316万円	96億8888万円

平成28年度一般会計予算案 主な歳入

主な歳入	平成28年度	構成比 (%)	平成27年度	比較増減
市 税	433億0362万円	53.7	429億5218万円	3億5144万円
主な市税内訳	個人市民税	—	144億6100万円	▲2993万円
	法人市民税	—	42億9829万円	8174万円
	固定資産税	—	195億4499万円	2億3378万円
	市たばこ税	—	19億4741万円	547万円
	都市計画税	—	23億9619万円	2939万円
国庫支出金	121億5300万円	15.1	109億3273万円	12億2027万円
市 債	64億9610万円	8.1	54億2140万円	10億7470万円
地方消費税交付金	45億8600万円	5.7	41億8600万円	4億0000万円
県支出金	44億3228万円	5.5	44億6094万円	▲2865万円
使用料及び手数料	14億4613万円	1.8	12億4784万円	1億9828万円
繰越金	12億0000万円	1.5	8億0000万円	4億0000万円

平成28年度の厚木市の一般会計予算案は805億8千万円で、平成27年度よりも28億円(3・6%)増えています。予算で800億円を超えたのは初めてです。歳入では、市税収入は433億3622万円で、歳入全体の53・7%です。うち個人市民税は0・2%減の144億3106万円、法

後期高齢者医療、国保、介護、歳出では子ども子育て新制度の影響もあり、民生費が317億8257万円で、27年度に続きほぼ4割になっています。土木費は駅南口再開発、中町2・2地区、スマートインターチェンジなどがあり、18億3500万円増の114億7754万円となっています。

平成28年厚木市議会2月定例会議が2月22日(月)～3月18日(金)まで開催されます。主に新年度予算案を審議します。提出議案は38件で、平成27年度の一般会計など補正予算が6件、28年度予算が7件、市長施政方針演説が22日に行われます。

人市民税は1・9%増の43億8067万円です。固定資産税は家屋の新増築が増えたことで1・2%増の197億7878万円です。使用料及び手数料は2億円近く増。放課後児童クラブで新たに育成料(月4千円)を徴収し5千万円、公共施設の利用料も上がるなど市民負担が増えています。

平成27年度一般会計補正予算(第6号)は45億5058万円の増で総額837億2930万円になりました。法人市民税が44億円、前年度繰越金が10億1971万円と大幅に増えました。そのため、財政調整基金(財調)に7億7000万円戻し、さらに34億9369万円を積み立て、財調合計は63億8000万円になります。

下水道、病院事業などの特別会計との総額では1503億2204万円です。27年度より96億8888万円(6・9%)の増額になっています。これも過去最高です。

強気の補正予算 財政調整基金が63億円に